

事業番号	05 07 03	事業改善シート（令和5年度実施事業分）		■当初要求	□当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	難病及びその他疾病対策事業			部局	健康福祉部	課・室	保健・疾病対策課
				実施期間	H6 ～	E-mail	hoken-shippe@pref.nagano.lg.jp
次期総合5か年計画（答申書）との対応関係							
政策の柱	持続可能で安定した暮らしを守る						

## 1 現状と課題

・発病の機構が明らかでなく、治療方法が確立していない、希少な疾病であって、長期の療養を必要とする「難病」の患者に対して、療養生活環境の整備や「指定難病※1」に対する医療費助成等を行ってきた。

・2021年県民の死亡原因の24.8%※2を占める循環器病や国民の約二人に一人が有していると言われるアレルギー疾患等、県民の生命や健康を脅かすさまざまな疾病が存在する。

※1客観的な診断基準が確立しており難病法で指定されている疾病 ※2心疾患14.3%、脳血管疾患8.8%、大動脈瘤及び解離1.7%の計

## 2 事業目的

・難病を含む各疾病の患者が安心して療養生活を送れる社会を構築する

・県民が各疾病を理解し、その予防に努め、罹患数及び死亡数を減少させる

・各疾病に対し、病期に応じて質の高い医療が提供される体制を整備する

## 3 事業目的を達成するための取組

**①難病対策の推進**

・指定難病等の患者の医療費負担を軽減するため、医療費の一部を助成

・難病患者が適切な治療を受けながら療養生活を送れるよう、難病に係る医療提供体制、相談体制を整備

**②その他疾病対策の推進**

・県民の疾病に対する理解や関心を高めるため、啓発活動を実施

・疾病や病期に応じた適切な医療サービス等が提供されるよう、医療・介護従事者への研修を実施

・疾病を発症しても社会復帰できるよう、治療と仕事の両立支援等の啓発活動を実施

**③骨髄等提供の推進**

・骨髄バンク登録者数の増加に向け、関係団体と協力し啓発活動等の登録促進活動を実施

・ドナー候補の提供辞退を防ぐために、骨髄等提供時のドナー等に対する市町村助成金の一部を補助

## 4 成果指標

(推移の凡例 ↗ : 改善 ↘ : 悪化 → : 変化なし — : 数値なし)

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込値	推移				
①	難病相談支援センターや保健福祉事務所等における相談対応件数	件	6,633	8,437	↗	8,400	→	8,400	△	令和2年度に難病相談支援センターがWEBによる相談を開始後、相談対応件数が増加。そのため、令和3年度実績並みの相談対応件数で推移することが、難病患者等が相談しやすい体制の判断根拠となると考えて設定。	
②	循環器病診療に係る医療従事者向け研修会の開催回数	回	—	—	—	1	—	1	△	病診連携の推進、循環器病に関する知識の向上のため、令和3年度末策定の長野県循環器病対策推進計画において、医療従事者が学ぶ機会を設けるとしているため、当面の間、毎年1回の開催を目標に事業に取り組む。	
③	対象人口千人あたりのドナー登録者割合 都道府県順位 ※対象人口（18歳～54歳）	位	46	44	↗	43	↗	向上	△	他県と比較して下位であるため、全国平均並みに登録者を増やすことを目標とする。	

## 5 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算	合計	うち一般財源		
R5年度	(予算案)				0		4.2
	(要求)		2,649,229		2,649,229	1,335,797	
R4年度	0	2,477,636	5,943	2,483,579	1,252,392		4.9
R3年度	0	2,347,557	418,491	2,766,048	1,398,668	2,723,676	4.9

事業番号	05 07 03	<b>細事業一覧（令和5年度実施事業分）</b>	■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	<b>難病及びその他疾病対策事業</b>		部局	健康福祉部	課・室	保健・疾病対策課

細事業 No.	細事業名		R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
<b>1</b>	<b>難病対策推進事業</b>		2,344,318 千円	2,474,230 千円	(予算案) (要求) 2,645,558 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	特定医療費助成事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定難病の治療に係る医療費の自己負担分（患者一部負担額を除く）を公費で負担する</li> </ul> 支給対象15,888人（令和4年3月31日現在）		
2	特定疾患治療研究等事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定疾患・先天性血液凝固因子障害等の治療に係る医療費の自己負担分を公費で負担する</li> <li>特定疾病の治療に係る医療費の自己負担分（患者一部負担額を除く）を公費で負担する</li> </ul> 支給対象118人（令和4年3月31日現在）		
3	遷延性意識障害者医療費給付事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> <li>遷延性意識障害者の治療に係る医療費の自己負担分を公費で負担する</li> </ul> 支給対象4人（令和4年3月31日現在）		
4	難病特別対策推進事業	直接 委託	<ul style="list-style-type: none"> <li>難病診療連携コーディネーターの配置【委託先：信州大学医学部附属病院】</li> <li>難病医療ネットワークへの参加、在宅難病患者の一時入院の調整</li> <li>在宅重症難病患者の一時入院に係る病床確保協力金の支給</li> </ul> コーディネーター（医師1名）の配置、入院調整5人、協力金の支給5件		
5	療養生活環境整備事業	直接 委託	<ul style="list-style-type: none"> <li>難病相談支援センターの設置【委託先：信州大学医学部附属病院】</li> <li>電話・面談・訪問等による相談支援、患者会支援等の実施</li> </ul> 相談件数6,500件程度		
6	在宅難病患者コミュニケーション支援事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅難病患者への療養生活支援機器（意思伝達装置等）の貸出</li> <li>難病患者支援者への機器等の取り扱いに関する研修の開催</li> </ul> 希望に応じて機器を貸出、研修会開催1回		

細事業 No.	細事業名		R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
<b>2</b>	<b>その他疾病対策事業</b>		3,239 千円	3,406 千円	(予算案) (要求) 3,671 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	循環器病対策推進事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> <li>効果的な循環器対策の検討、次期計画の策定に向けた協議会の開催</li> <li>疾病の正しい知識の定着、治療と仕事の両立支援等の普及啓発を実施</li> </ul> 協議会開催1回、啓発企画の実施		
2	生活習慣病医療連携体制基盤整備事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> <li>脳卒中、心臓病等の生活習慣病に携わる医療従事者等に対する研修会の開催</li> <li>地域医療の質の向上に向けた研究会を開催</li> </ul> 研修会開催1回、研究会1回開催		
3	アレルギー疾患対策推進事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> <li>アレルギーに関する医療の現状や課題把握、対策の検討を目的とした連絡会議の開催</li> </ul> 連絡会議1回開催		
4	骨髄提供希望者登録推進事業	直接 補助金	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係団体と協力した普及啓発活動、登録促進活動の実施</li> <li>骨髄等提供時のドナー等に対する市町村助成金の一部補助</li> </ul> 啓発企画の実施、市町村の申請に応じて助成		